子どもたちの より良い教育環境のために

2026 SEVEN 7

TOPIC 校歌の検討方法について

準備委員会委員のうち保護者代表の委員10人（校歌検討チーム）と事務局で校歌の制作者を選定し、準備委員会に報告します。

TOPIC 校名決定のスケジュール

●子どもたちと保護者に校名を募集するアンケートを実施【予備アンケート】（7/3～24）

7月

8月

●準備委員会で校名候補を決定
（予備アンケートを基に５案程度決定）（8/6）

●子どもたちと保護者に校名候補を発表（8/7）

●校名候補周知イベント実施！

次の会場で、来場者の方にシールで投票いただきます。この投票結果は準備委員会で参考とします。

したふるさと祭り会場（8/22(土)）
ホームセンタームサシ下田店様、
横田精肉店様、リオン・ドール下田店様
（8/17(月)～28(金)）

●子どもたちと保護者に校名選定アンケートを実施【本アンケート】（8/31～9/14）

9月

●準備委員会で校名を決定
（本アンケートを基に決定）（９月下旬）



子どもたちへのアンケート用紙
（7/3配布）

担当　三条市教育委員会教育総務課庶務係（井上・富樫）
電話（0256）45-1111

第９回準備委員会（6/29）概要

【議事】統合小学校の校歌の検討方法について

前回の準備委員会で、校歌の検討方法については、再度事務局に預けることとしていた。しかし、その後、しただの郷学園運営協議会で、現在の５つの小学校と旧森町小学校の校歌の歌詞を参考にして、統合小学校の校歌をＡＩで制作することとしてはどうかという意見があった。今の時代、ＡＩで制作することをどう考えていくか。

事務局　校歌の検討方法については、５月の準備委員会で森町小学校校歌の歌詞を一部修正して、統合小学校の校歌とすることとしてはどうかという御意見をいただいた。他方で、２月の準備委員会の際の一定の方向感として、子どもたちや保護者には地域にゆかりのある方や著名なアーティストにより制作していただく方が喜ばれるだろうという方向だった。御意見に対し事務局としては、委員会の総意であればこの方向を変えることはやぶさかではないという回答をした。今回の、校歌をＡＩで制作するという御意見についても同様である。

事務局では、５つの小学校と旧森町小学校の校歌の歌詞をＡＩに読み込ませて１つの歌詞としたとき、どのような結果が出るのか試してみた。一点目は、６つの歌詞をそのまま読み込ませて単に１つの歌詞にしたもの、二点目は、例えば、５校が１校になるといったエピソードを間接的に盛り込むことなどの指示を加えたものである。一点目よりも二点目の方がいくらか読める文章になったと思う。しかし、ＡＩで作成したという先入観かもしれないが、統合小学校のシンボリックな事柄となることは、検討していくプロセスが大切であると考える。ＡＩでの作成は、確かに予算も時間もあまりかからずに校歌を制作できて現代的な手法ではあるが、いわれを創っていくということに懸念が残る。

意見　事務局が試作で使った６つの校歌の中に旧中浦小学校が入っていないことが寂しい。この学校の校歌も諸橋轍次博士が作詞をしている。

また、６つの校歌からＡＩで統合小学校の校歌を制作することは、著作権に問題はないのか。各小学校の校歌は、作詞家の思いが詰まったものであり、それを１つの校歌にすることは、作詞家の気持ちを踏みにじることではないか。ＡＩを活用するとしても、児童などから集約した言葉を使う方がよい。

また、ＡＩで校歌を作った学校をインターネットで検索すると、小室哲哉氏がプロデュースをした学校があった。専門家の意見が入った方が良い校歌ができるのではないか。

意見　ＡＩは歌詞だけではなく曲も作ることができる。歌詞を専門家に、曲はＡＩにという選択肢もある。今の段階でＡＩを使うか否かのみを議論しなくてもよいと思う。

意見　校歌をＡＩで制作することは、テレビでも紹介され話題となっている。児童などにアンケートを取り、意見を踏まえた上で進めることとしてはどうか。また、校歌制作の過程や逸話を持ちつつ、ＡＩをツールとして使うということも考えられる。

意見　著名なアーティストが小学校の児童が歌う校歌を作れるのか。そこにお金と時間を掛けるのか。子どもたちを第一に考え、著名なアーティストとするならば校歌というものを知った上で、作ることができる人を選定するべきである。また、下田地域には諸橋轍次博士という偉人がいる。この偉人以上にふさわしい人を探すことができるのか。

事務局　現段階でいただいている御意見は、一点目として、歌詞と曲を含めてＡＩを活用すること、二点目として、諸橋轍次博士が作詞をした森町小学校の校歌の一部を修正して引き継いでいくこと、三点目として、地元にゆかりのある著名なアーティストを選定し依頼することの大きく三点と考える。校歌の検討方法について、準備委員会としての方向性を改めて確認し整理させていただきたい。


第９回準備委員会の様子

【提起】歌詞と曲を含めてＡＩを活用すること、諸橋轍次博士が作詞をした森町小学校校歌の一部を修正して引き継いでいくこと、地元にゆかりのある著名なアーティストを選定し依頼すること、この方向性の中から委員の挙手により、改めて方向性を確認することとしてはどうか。（全員異議なし）

歌詞と曲を含めてＡＩを活用
（４人の挙手）
諸橋轍次博士が作詞した森町小学校の校歌の一部を修正
（15人の挙手）
地元にゆかりのある著名なアーティストを選定し依頼
（26人の挙手）

地元にゆかりのある著名なアーティストを選定し依頼するという方向性で進めてはどうか。（全員異議なし）

【決定】（改めて）地元にゆかりのある著名なアーティストを選定し依頼するという方向性で進めることを決定した。

事務局　児童などにアンケートを取って校歌の制作者を選定するという意見については、アンケートを取ると、流行の有名アーティストが様々に出てくることが想定されるが、子どもたちが好むと想定されるアーティスト事務所に事務局から照会してみたところ、校歌の制作を受けていないという返答か、返事が来ないという状況だったということは前回報告させていただいた。また、著名なアーティストが校歌を制作した学校に、どのように受けていただいたのか照会してみた結果、その地の出身であったり、元々学校の取組にゆかりがあったりと、繋がりがあって依頼できたということであった。このことから、子どもたちにアンケートを取ったとしても、想定される方々に受けていただくことは難しいと考えている。

　また、依頼した方に断られたとして、その事実が広がり、次の方に依頼したとすると、それはその方に失礼なこととなる。これは極めてデリケートな話である。この場合、委員全員で検討を進めることは難しいのではないかとも考えている。委員には、保護者代表が各校２人おり、一番子どもたちに近い存在である。例えば、この保護者代表の委員計10人と事務局が検討を進めることも考えられる。

【提起】校歌制作者の選定を、保護者代表の委員計10人と事務局で検討を進めることとしてはどうか。（全員異議なし）

【決定】校歌制作者の選定を、保護者代表の委員計10人と事務局で検討を進めることとする。

事務局　校歌制作者の選定については、保護者代表の委員に一任いただき、制作者候補御一方を決めて、その方にお願いして一定の了解を得たところで、準備委員会に報告することとさせていただく。

【その他】統合小学校の校名決定スケジュールについて

事務局　統合小学校の校名決定スケジュールについては、前回の準備委員会で、統合について盛り上がりを持たせた上でアンケートを実施してはどうかという御意見があった。これを踏まえて、児童及び保護者に校名アンケートを行い、準備委員会で５案程度に校名候補を絞り込んだ後、周知等による機運の盛り上がりの期間を設けて、２学期にその候補の中から最終的な校名を選ぶアンケートを行い、その結果を受け、準備委員会で校名を決定するということを考えた。機運醸成の取組として、しただふるさと祭りや店舗で投票イベントを実施し、統合を身近に感じてもらう機会を設けたいと考えている。

Q 校名アンケートの際、クラスで考えるなど、子どもに働きかけてもよいか。

A ぜひ子どもたちに働きかけて、新しい小学校への期待と機運を盛り上げていただけるとありがたい。

次回の準備委員会

○と　き　８月６日（木）
　　午後６時開会
○ところ　飯田小学校食堂
○内　容　統合小学校の校名など

check　どなたでも傍聴できます。
直接会場にお越しください。

学校の在り方について、御意見をお聞かせください.

○方　法　電話(0256-45-1111)
　　又はグーグルフォーム

←グーグルフォームの入力はこちら

REPORT

各個別検討部会の検討も進んでいます。

各部会でも、子どもたちのために毎回熱心な議論をいただいています。
ここでまとまった検討事項は随時、準備委員会に諮ります。



地域交流部会

学校・保護者・地域が一緒になり、子どもたちが安全で豊かに学べる環境を作れるよう、PTA組織などについて検討しています。



通学部会

子どもたちの安心安全な通学路やスクールバスなどについて検討しています。



学校運営部会

子どもたちが学校生活を送るために必要な、カリキュラムや体操着などについて検討しています。

これまでの検討の経過はこちら
したただの郷未来